

運動部活動における組織市民行動が

ライフスキルの獲得に及ぼす影響

スポーツ経営組織学ゼミナール 1313071 本多 佳永子

1. 研究動機・研究目的

スポーツを離れた日常生活場面において必要となる心理的スキルとして、ライフスキルがある。ライフスキルは、日常生活で生じる様々な問題や要求に対して、建設的かつ効果的に対処するために必要な能力であり(WHO,1997)、スポーツ活動を通じて獲得し、向上させることができると考えられている。ライフスキルを高める方法として、課外活動への期待が近年高まっている(上野,2001)。日本スポーツ心理学会第34回大会(2007)シンポジウムでも「運動部活動の意味を問う：社会心理的観点からの教育的意義」が検討されるなど、課外活動の中でも、とりわけ運動部活動の教育的価値が注目されている(青木,1989)。また上野・中込(1989)は、運動部活動参加者と不参加者のライフスキルを比較し、運動部活動参加者は不参加者よりも対人スキル及び個人的スキルを獲得している程度が高いことを明らかにした。だが、スキルの獲得自体については、学習理論によって説明されるが(上野,2008)、具体的に体育・スポーツ場面におけるどのような経験が、心理社会的スキルの学習や練習の機会となるのかについては未だ不明な点が多い。

そこで本研究では組織市民行動に焦点をあてた。組織市民行動とは、自由裁量的で、公式的な報酬体系では直接的ないし明示的には認識されない個人的行動であり、その個人的行動の集積によって、組織における効率性・有効性という機能を促進する行動(Organら,2006)であり、行動に着目した概念である。先行研究で、運動部活動参加者のほうがライフスキルが高いということがわかったため、本研究では、対象者を運動部活動に所属する大学生とし、運動部活動における組織市民行動がライフスキルの獲得にどのような影響を及ぼしているのかを明らかにすることを目的とした。

2. 研究方法

【調査対象】

体育会運動部に所属している大学生 (n=281)

【調査期間】

2016年10月1日～16日

【調査方法】

質問紙調査

①フェイスシート

(大学名、学年、年齢、性別、部活動名、役職、アルバイト経験、住まい)

②日常生活スキル尺度（大学生版）

③組織市民行動尺度

3. 主な結果と考察

組織市民行動尺度の 3 つの下位尺度（チームへのコミットメント行動、メンバーへの援助行動、チーム状況への忍耐）の得点と、日常生活スキル尺度（大学生版）の 8 つの下位尺度（親和性、リーダーシップ、計画性、感受性、情報要約力、自尊心、前向きな思考、対人マナー）の得点の相関分析を行った結果、すべての群において 1%水準の相関がみられた。この結果により、運動部活動中における、チームのメンバーとしてチームを効果的に機能させるために求められる行動である組織市民行動と、効果的に日常生活を過ごすために必要な学習された行動や内面的な心の動きであるライフスキルとの間に直接関係があるということが示唆され、仮説通りの結果となった。また、ライフスキルの獲得にはさらなる他の要因が関わっている可能性があると考え、追加検証を行った結果、性差、アルバイト経験、ともに有意な差は得られなかった。だが、住まいについて検討を行ったところ、一人暮らしのほうが情報要約力、前向きな思考において有意な差が見られた。一人暮らしをするにあたり、一人で生活していく力が必要となり、一人で生活していくための情報を入手し、上手く要約していく能力が培われていくのではないかと推測される。性差に差が見られなかったことについては被験者の偏りがあったためだと考えられる。男性 201 名、女性 79 名と、被験者に男性が多かったため性差の差が得られなかったと考えられる。

4. 結論

本研究から得られた結果は以下のとおりである。

- (1) 組織市民行動とライフスキルには関係性がある。
- (2) ライフスキルの獲得に性差はない。
- (3) 一人暮らしのほうが実家暮らしよりもライフスキル獲得との差が示された。

本研究では、組織市民行動がライフスキルの獲得に影響を及ぼしていることが示唆され、性差はなく、一人暮らしのほうがライフスキルの獲得が高いということが示唆された。

5. 卒業論文の執筆を終えて

本論文を執筆するにあたり、指導教官である水野基樹先生を始め、水野ゼミの院生の方々、多くの皆さまのご指導ならびにご支援を承りましたことを、心より感謝申し上げます。本研究を進めるにあたり、同期や、アンケートにご協力くださった皆さま、心より感謝申し上げます。水野ゼミで学んだことを生かし、今後社会人になってもさらに精進してまいりたいと思います。そしてここまで育ててくれた両親に、深く感謝したいと思います。これからは今まで迷惑をかけてきた分、精一杯恩返しをしていきたいと思います。本当にありがとうございました。